

1. 目的

独立行政法人国立公文書館は、国の機関及び独立行政法人等から歴史資料として重要な公文書等の移管を受け入れ、特定歴史公文書等として保存し、及び一般の利用に供すること等の事業を行うことにより、歴史公文書等の適切な保存及び利用を図ることを目的とした施設である。

2. 沿革

昭和 46 (1971) 年 7 月 1 日 総理府の附属機関として開館
平成 10 (1998) 年 7 月 1 日 つくば分館開館
平成 13 (2001) 年 4 月 1 日 独立行政法人化
平成 13 (2001) 年 11 月 30 日 アジア歴史資料センター※開設

※インターネットを通じてアジア歴史資料に関する情報を提供。

3. 役職員

役員：4 名 (館長：鎌田 薫 (前早稲田大学総長))
(理事：中田昌和 (元国立公文書館次長))
(監事 (非常勤)：鈴木 洋子 (弁護士)、
野口真有美 (公認会計士))

職員：68 名 (令和 3 年度定員)

4. 所在地

本館：東京都千代田区北の丸公園 3-2



昭和 46 年竣工

建物：地上 4 階地下 2 階 (4 層)
敷地面積：4,000 m²
建物面積：11,550 m²
(うち、書庫部分 7,000 m²)
書庫書架総延長：34,850m

分館：茨城県つくば市上沢 6-6



平成 10 年竣工

建物：地上 3 階
敷地面積：25,000 m²
建物面積：11,250 m²
(うち、書庫部分 7,290 m²)
書庫書架総延長：37,446m

5. 業務の主な概要

- ① 歴史公文書等の受入れ
- ② 特定歴史公文書等（国の機関等から受け入れた歴史資料として重要な公文書等）の保存
- ③ 特定歴史公文書等の目録作成
- ④ 特定歴史公文書等の利用
- ⑤ インターネットによる情報提供
- ⑥ 展示会
- ⑦ 調査研究
- ⑧ 会議・研修会等の実施
- ⑨ 国際交流 等

6. 予算

令和3年度予算額：2,443百万円

7. 書架（令和2年度末時点）

総延長：72,296m（本館：34,850m 分館：37,446m）

排架延長：66,711m（本館：33,332m 分館：33,379m）

8. 所蔵資料（令和2年度末時点）

約156万冊

9. 利用状況（令和2年度実績）

閲覧者数 年間約1,800人

閲覧冊数 年間約16,000冊

インターネットでのアクセス

国立公文書館ホームページ 年間約26万件

国立公文書館デジタルアーカイブ 年間約112万件

アジア歴史資料センター 年間約52万件